

令和4年度

「子供たちのための、意見・提案・要望・感想・校長に知らせたいこと など」によってお寄せ頂いたご意見と校長からの回答など

※個人情報保護等の関係で、内容を詳しく記述していないものもありますが、「緊急性の高いもの」や「個別対応が必要なもの」については、随時、迅速に、誠意を持って対応しております。

4 / 8

- ・可能であれば着衣水泳の授業をしていただきたくお願いいたします。
宮城県は自然豊かで川や海も近い場所にあります。毎年痛ましい事故が起きますが、なかなか家庭で指導するのは難しく、プールの時間に、6年間で1時間でもその時間があれば、子供たちにとって貴重な体験になるのではないかと思います。ご検討いただけましたら幸いです。

子供たちの安全や命を守るための貴重なご提案、ありがとうございます。

本校学区は水害危険地域でもあり、地域性を考えても是非必要な学習だと考えておりました。上学年での実施が効果的だと思います。

着衣泳後はプールが若干汚れますので、週末の実施を計画し、水難事故対策を考えれば、秋口ではなく夏休み前に4、5、6年生での実施を基本に計画し、次年度以降も引き継いで参ります。

今年度からは是非実施したいと考えています。

- ・校長室だよりの内容は、子育てに生かせる内容を参考にしたり、校長の考えや学校の方針に触れたりなど、毎回興味深く拝見しています。

4 / 15

- ・日々、先生方におかれましては、忙しい中、こどもたちの事を良く見てくださり、親の自分では気づかない部分も温かく支援してくださっていると感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

4 / 22

- ・コロナ禍の中でも、学校生活を工夫していただきありがとうございます。先生方が子供たちに寄り添ってくださっていることが、以前にも増して感じられます。
- ・校長先生の毎朝の見回りに感謝申し上げます。
- ・毎日の清掃活動や学校生活で、校長先生をはじめ職員が子供たちと一緒に取り組んでいて、子供たちは信頼を持って職員に接しています。その信頼があるからこそ、時には間違っただけをしっかりと叱っていただき、心に響いているのだと思います。
- ・教職員には学習指導以外にもたくさん仕事があって大変だと思います。そんな中、毎日全力で子供たちを思っで見守りご指導くださり、ありがとうございます。
- ・トイレ清掃や1年生のお世話など、学校の様々なサポーターの方々に感謝いたします。これまで、子供たちが心も体も健やかに成長できたのは、先生、そしてサポーターさんのおかげです。サポーターさんがいてくださるから、子供たちの情緒面も満たされるのだと思います。ボランティアということで無償と伺いました。有償となるよう、行政に働きかけていただきたいです。

スクールサポートスタッフ、生活・学習サポーター等の皆様には、学校を支える大きな力になっていただいていることに、学校としても日々深く感謝いたしております。

保護者の方からも、このようなお声が届いていることをサポーターの皆様にご伝えながら、改めて感謝申し上げます。

報酬につきましては、一部有償の部分もあるのですが、確かに、ボランティアということに甘えていても感じております。今後も感謝の気持ちを忘れず、ボランティアの方々が活動しやすい環境整備に努めて参ります。

4 / 28

- ・授業参観、ありがとうございます。2名参加可能でしたので、父親も参観することができ、子供の様子や、

先生やお友達の顔、教室の雰囲気などを見ることができて安心しました。

5 / 6

- ・学校で挨拶に力を入れて指導なさっていることが、校長室だよりなどからよく伝わってきます。人として大切なことをしっかりと指導していただき、感謝しています。しかし、学校にお邪魔した際、挨拶しても教職員の方から挨拶が返ってこないことがあり、とても残念に感じました。お忙しかったりすることもあるでしょうが、保護者に限らず、挨拶は人間関係の入口として大切なものです。心に留めていただきたいと思います。

子供たちの指導にあたる者としても、一人の社会人としても、許されない行動です。たいへん申し訳ありませんでした。

これまでも挨拶の重要性や、保護者や来校者に対する礼儀、心構えについての指導を折に触れて行ってきたところですが、今回、このような現状をお知らせ頂き、職員への指導が不十分だったと深く反省させられました。改めて教職員個々に働きかけ、一人一人の職員が自分を振り返る機会を設けながら、改善に努めて参ります。

5 / 13

- ・足を痛めて、運動会の練習に参加できないでいるお友達があります。本番まで治りそうもなく、当日、欠席しようか迷っていると聞きました。ただ見学だけで無く、参加できる方法をご検討いただきますようお願いいたします。

担任と相談して本人や保護者とも話し合いながら、参加できる方法を工夫いたします。

(※練習と当日、太鼓で参加しました。)

5 / 20

- ・運動会の徒競走で、スタートの時のピストルの音におびえている子供がいました。配慮が必要ではないでしょうか。

事前に把握していた配慮が必要な児童については、保護者とも連絡を取り合って対応していましたが、実態の把握が不足していた面もあったと反省しています。今後、事前に児童への確認を徹底しながら進めて参ります。

- ・先生の注意の仕方が怖いと感じている子供がいます。悪いことを注意する際には、周囲で聞いている児童のことも考えながら、注意の仕方に工夫や配慮をしていただきたいと思います。

受け取る側がどのように感じるかが全てであり、配慮がたりなかったと反省しております。どのような時に怒らなければならないのかについて、担任から丁寧に説明させ、子供たちにも理解と協力を求めて参ります。また、問題行動への対応に際しては、一斉指導の中での厳しい注意を控え、個別指導も取り入れながら対応するなど、配慮や工夫に努めて参ります。立派にできている、注意される対象ではない児童を取り上げて、積極的に褒めることも心掛けて参ります。

5 / 27

- ・運動会でのご指導、ありがとうございました。ご配慮に感謝いたします。
- ・学校にとっても楽しく通っています。学校探検を楽しみにしています。

1年生も少しずつ学校に慣れてきました。ご家庭でのご協力に感謝しております。これからもさらに、学校生活を生き生きと送ることができるよう支援して参ります。

6 / 3

- ・最近仕事が忙しく、我が子と向き合う時間がとれないことを反省しておりました。学業を含めて、人間としての成長は、心の充実がなければできないものだと痛感させられているなかで、先生方との関わりが心の栄養となっていることを、嬉しくありがたく思っております。

今後も、保護者の皆様と心を揃え、全職員一丸となって子供たちを大切に、子供たちに寄り添って参ります。

6 / 10

- ・いつもお世話になってます。入学してから、登校の不安や休み時間の使い方などでたくさん担任の先生にはご迷惑をおかけしたと思いますが、お陰様で楽しく通っています。引き続きよろしくお願ひします。

入学してから2ヶ月が経ちました。1年生は少しずつですが確実に成長しています。保護者の皆様のご協力の賜です。

6 / 24

- ・子供たちの間での「呼び捨て」が気になります。いじめにもつながることで心配です。

ご心配はごもっともです。昨年度から、私も気になっており、「校長室だより 2021年9月17日号『礼儀ある人間関係の出発はお互いの「呼び方」から』」で、私の考えを詳しくお伝えいたしました。**(以下、抜粋)**
学校として、最も注意深く観察し、決して目をそらしてはならないのが、閉鎖的で固定化した集団の中での、子供たち相互の人間関係です。公的な社会訓練の場としての学校(学級)の中で、特に基礎的な小学校の段階で、「呼び捨て」には以下のような問題を感じています。

* いつの間にか、呼び捨て以外の一般的な呼び方ができなくなっている場合がある。

(公的な使い分けはもちろん、意識しても、敬称や子どもらしいニックネーム等を使うことに抵抗を感じて、呼ぼうとしてもできない。=ゆがんだ習慣)

* 呼び捨てにする場合、他人としての礼儀や相手に対しての配慮が感じられないことがある。

(親しいつもり・優越感・軽蔑・相手の気持ちにはお構いなし・・・)

学校という偶然に集まった集団の中で、お互いが個人として尊重し合い、お互いの存在を認め合い、他人としての礼儀をわきまえながら平等な人間関係を築き、その上で、協力し合い、励まし合いながら、お互いに思いやりを持って一人一人が心から安心して生活できる環境(社会)をつくっていくことが私の願ひであり、責任でもあると思ひています。

改めて、上記の観点から、各学級で指導いたします。

7 / 8

- ・学校から保護者への連絡体制に以下のような問題があり、改善をお願いします。

①連絡事項が不足している

○購入物がはっきりしていない。

- ・水着の購入を促されたが、何を購入すればいいのか、学校指定があるのか連絡がなかった。何を購入すればいいかはその後通達があったが、学校からの購入指定日後の連絡であった。
- ・鍵盤ハーモニカの購入連絡があったが、「購入のお知らせ」という封筒のみ。価格の記載や、指定の有無、期日については何もなかった。→同日、詳細について別途プリントを渡すとメールあり。

○「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうする」がはっきりしていない。

- ・授業参観日についてのプリントに、「いつ」は明記されていたが、「誰が」がかかれておらず、子供は何時にいけばいいのか、親も同じ時間でいいのか、混乱があった。
- ・個人面談について連絡が来ているが、「誰が」が不足している。「個人面談」なので保護者のみでいいのか、児童も連れて行くのかが明記されていない。

②連絡タイミングが適切でない

- ・上記、水着について、購入物の指定が購入期日後であった。
- ・授業でマヨネーズの空き容器を使うため、各家庭で用意すること、と1週間前に連絡があった。1週間前では用意が難しい。

早急に情報共有し、学校全体として改善に取り組みます。

今後、子供たちが充実した学校生活を送るためには、ご指摘いただいたような連絡不足等で信頼関係を損

ねることがあってはいけません。丁寧で具体的なお指摘をいただけたことで、学校としての改善点を職員と明確に共有することができました。ご連絡をいただけたことに、深く感謝申し上げます。

- ・ 子供に学校の様子を聞くと、毎日「楽しかった」「明日も楽しみ」「この授業が好き、嫌い」などと、たくさんのお話を聞かせてくれます。校長先生のことも、楽しそうにお話ししてくれます。
- ・ 学校から子供のいじめについて細かく連絡をいただいていることに感謝しています。しかし、いじめ被害はとて心配です。これからも見守りをお願いします。

子供たちにとって、学校生活がより楽しく豊かなものになるように、今後も職員一同、日々油断せず、気を引き締め、反省すべき点は謙虚に反省し、一丸となって努力いたします。

「子供たちのための、意見・提案・要望・感想・校長に知らせたいこと など」があれば、これからも随時お寄せください。保護者の皆様と力を合わせ、心を一つにしなが、子供たちのための学校運営に取り組んで参ります。

7 / 20

- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策や事後対応など、特に、担任の先生と教頭先生を中心として業務多忙の中でも丁寧に対応していただいていることに感謝いたします。大変な時期ですが、先生方もお体にお気を付けてお過ごしください。

8 / 26

- ・ コロナウイルス感染拡大が心配です。学校での感染状況が詳しく知りたいです。

ご心配はごもっともです。学校（学級）における感染が確認された際には、保護者に向けて感染状況や、必要に応じて学級閉鎖等の措置に関して連絡いたします。学校外での感染、家族間での感染、学校外での濃厚接触者については、公表や連絡はいたしません。

- ・ 校長室だよりを、町内会の回覧で拝見しています。毎週様々な話題で校長の人柄にも触れられ、楽しみにしています。以前「毘沙門天」について取材した内容も印象的で、地域住民が知らないこともあって、勉強になりました。

この「校長室だより」は、教職員、保護者、地域の皆様に同じ文章を読んでもらっていることに大きな意義を感じながら、毎週発行しています。地域の方々への回覧に際しては、各町内会の担当者の方にご負担をおかけしており、申し訳なく感じておりますが、お陰様で、小学生がいないご家庭にも読んでいただくことができ、深く感謝しております。

取り上げる話題については、校長の私見を綴ることも多く、共感いただけることばかりではないと思いますが、「身近な小学校の校長の思い」や「現在の学校の様子」などについて知る機会だと思っていただき、ご一読いただければ幸いです。

また、「子供たちのための、意見・提案・要望・感想・校長に知らせたいこと など」について、常に門戸を開いて広く吸い上げ、双方向の関係を築くことも、校長室だよりの大きな目的の一つです。毎週という頻度で出しているのは、そのことを保護者や地域の皆様に日常的に意識していただきたいと思っているからです。今後も随時遠慮なくご意見等をお寄せください。

※学校の HP から、バックナンバーをご覧いただくことができます。

9 / 2

- ・ 学校からの緊急メールが届かなくて困っています。

このような場合は、登録メールアドレスを確認して個別に対応しております。

学校側で解決できるものもありますが、登録者（保護者）側の契約上の設定によって拒否されていることもあります。いずれにせよ、緊急メールが届かないご家庭がないようにすることが大切ですので、心配な場合は随時ご遠慮なくご連絡ください。

9 / 9

- 学校の北側通学路（毘沙門天西側の塀のある辺り）の雑草が伸び放題になっていて、子供たちが歩道代わりにしている側溝の蓋に覆いかぶさっています。子供たちは車道に出て歩かなければならず、とても危険です。対応をお願いいたします。

この夏の雨と猛暑の繰り返しで、これまでになく繁茂していました。雑草が伸びているところは公道脇の塀で囲まれた土地であり、本来は土地の所有者が責任を持って除草を行うべきところですが、確かに危険であり、緊急性があると判断し、小学校の職員で草刈を行い、児童の通路を確保しました。

今後も学区内の危険箇所等について情報があれば、随時ご連絡ください。学校が対応できることばかりではありませんが、PTA や外部機関とも連携しながら対応いたします。今後とも、子供たちの安全を守るために、地域の大人全員で力を合わせ、見守って参りましょう。

9 / 16

- 近所に、道路で遊んだり飛び出したりして危ない子供が数名います。車でひきそうになったことも何度もあります。学校で注意してください。

日頃から、学級担任を通して、道路で遊ばないことや飛び出しの危険性について指導を繰り返してきたところですが、今回このようなご連絡をいただき、学校での指導が不十分であったと反省しております。各学級で具体的な事例を挙げながら改めて指導いたします。今後も危険な様子を見かけた際にはご連絡いただき、その都度学校でも指導したいと思います。その上で、できましたら、地域の大人からもその場で注意していただければ、子供たちの意識がより高まると思われます。子供たちの命を守るために、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

9 / 30

- 休日の陸上競技大会への参加や土曜日の学校での活動など、子供たちに多くの体験の機会を与えていただいていることに感謝しています。子供たちにとって、いい経験になっています。

仙台市陸上記録会への参加については、陸上競技や指導の経験が豊富な職員を中心として、陸上競技を通して子供たちの心と体を鍛えることを目的として立ち上げた希望者による活動で、「郡山陸上クラブ」というチーム名で参加しています。早朝練習や当日のお世話などにあたっている教員は職務外の活動であり、全くの無報酬で、代休等もありません。子供たちの生き生きとした姿に大きな意義を感じながら指導やお世話にあたっていますが、今後、状況によっては、教員による活動の維持は難しくなることもご理解ください。

土曜日の活動については、おやじの会主催の活動です。これも希望者による活動で、学校行事ではありません。本校のおやじの会は、市内でも屈指の歴史と実績を持っており、子供たちのために、年間を通して様々な体験活動の場を提供してくださっています。学校として感謝しながら、実りある活動を継続しいけるよう協力して参ります。

学校としても、教育課程内での様々な体験学習・体験活動に、積極的に取り組んでいます。地域講師を招いての農業体験や防災学習、各種校外学習や見学、自分づくり教育の充実など、今後も子供たちにとって必要な体験の機会の確保に努めてまいります。

- 北目南地区、クロネコヤマトから有料道路インターチェンジまでの道路を、車が猛スピードで通り抜けて危険です。横断歩道がないことも一員ではないかと思えます。何かしら、警察などへ学校から働きかけていただけないでしょうか。

ご心配はもつともです。私も朝の通勤途中や巡回中、何度か怖い思いをいたしましたし、何よりも子供たちが危険にさらされていることは看過できません。今回いただきました「クロネコヤマト付近に横断歩道がないことが一因」とのご指摘も、地域の実態として重要な情報だと思い、早速、仙台南警察署交通課に電話で情報提供いたしました。今後、郡山中学校区青少年健全育成委員会の場でも話題にして、防犯協会や交通安全協会等の委員の方々にも情報提供して参ります。

ただし、以下の点について、学校としての限界や専門的な見地からの指摘等についてもご理解ください。

- ・学校も行政機関（外部公所）であり、陳情として優先的に重く受け止められることはありません。この点に関しては立場として力不足は否めません。
- ・校内での児童の安全を守ることと同様に、登下校についても学校管理下内という側面から、交通安全についても常に情報収集し、外部機関とも連携して対処しておりますが、道路等の地域公共設備等改善は地域住民と警察や行政との話し合いによるもので、学校はそれに直接関われる立場ではありません。
- ・児童の安全を守りたいという一心で情報提供や働きかけを行っていますが、専門的な立場の方からは、「横断歩道設置基準を満たさない場所への横断歩道の設置は、歩行者をかえって危険にさらす。」という指摘もいただいています。

今後、学校としては、校長の朝の巡回時に、北目南方面にもできるだけ姿を見せ、通過するドライバーの注意を喚起いたします。また、危険な道路の実態やより安全な渡り方について、各学級で継続して子供たちには指導して参ります。保護者や地域の皆様には、町内会等を通して、朝の通り抜け車両によって子供たちが危険にさらされている現状を、地域住民の立場からも警察や行政に訴えていただきますようお願いいたします。

10 / 7

- ・先生の発言で子供が傷つくことができました。子供を指導する立場にある教師は子供に大きな影響を与える存在です。そのことを十分わきまえて、子供への言動に注意してほしいです。

教師として、子供と適切な距離を持ち、子供の気持ちに配慮する想像力を持って、発言には気をつけなければならないことを指導いたしました。何より、子供につらい思いをさせることのないよう、今後、全職員で、改めて立場を自覚した言動を徹底して参ります。

10 / 14

- ・通学路の交差点などの路面に描かれている「歩行者の一時停止を促す黄色い足跡」などの表示が消えかかっています。描き直していただけないでしょうか。

確かに、子供たちの安全な登下校のためには有効なものです。目立つように描き直すことが望ましいと思ひ、公共の道路に関する事なので仙台南警察署道路交通課に問い合わせたところ、その種の表示には様々な材質やデザインがあり、その地域ごとに町内会やPTAが独自に業者に依頼したり路面添付用のシートを購入したりして設置しているものだそうです。耐用年数は2～3年ですので、あっという間に目立たなくなってしまうのですが、その都度、地域やPTAごとに検討することであり、警察や行政は関与していないとのことでした。

現在、郡山中学校区青少年健全育成委員会を通して、交通安全協会の予算の中から郡山小学校への割り当てとして予算を支出していただけないか打診し、検討していただいています。可能であればその予算で業者から表示を購入し、傷んでいる場所うちの何箇所かに設置いたします。今後もPTAや町内会などとも連携しながら、継続的に対応していくことが必要だと考えております。

子供たちの安全を心配しての貴重な情報提供に感謝申し上げます。

- ・学習発表会（音楽発表会）の学年毎開催に伴う保護者入れ替えについて、多数のご意見をいただきました。

過去において、不公平感を感じる事があったり、公平にと考えた結果、逆に、一部の保護者に大きな不利益を与えてしまったり等、学校として反省改善すべき点が多々ありました。ここでは様々な考えの具体については触れませんが、いただいたご意見を基にして全職員で問題意識を共有し、今後も継続的に随時検討して参ります。個別対応も含め、保護者の皆様にもご協力いただきながら、納得いただける形を模索して参ります。

10 / 21

- ・校長先生が朝の巡視で通学路をまわっていただき、家の近くにまで来てくださるので、安心して送り出すことができます。校長先生が笑顔でいてくれて、ホットとします。
- ・子供が校長先生と触れ合って、たくさんお話できて、校長室で遊ばせていただいたり、いつも寄り添っていただき、本当にありがとうございます。
- ・担任の先生に子供の心配なことを伝えたところ、それから様子を見て連絡をくださり、学校での様子を教えて頂き、クラスの友達にも声がけをしていただき、本当にありがたく感謝しています。

保護者の皆様の愛情には及びませんが、学校も、ご家庭と共に子供たちを可愛がり、子供たちに寄り添い支えてまいります。保護者の皆様からいただく暖かいお言葉は、私たち教職員にとっても励みになっております。ありがとうございます。

10 / 28

- ・学校の校門前への郵便ポスト設置について、私も大変嬉しく思いました。紙に書いて自分の思いなどを伝えることは、とても大事なことだと思っているからです。手紙には温かさがあると、日頃から思っておりました。娘が祖父母に出した手紙を、祖父母は大事に飾っています。今回の「手紙を書こう」という呼びかけは、とても大切なことだと思います。相手を思いながら考えて書くと、優しい気持ちになります。今回の郵便ポスト設置を契機に、子供たちが手紙をもっと身近に感じてくれればと思いました。
- ・郵便ポストの設置、とてもうれしいです。本当に、近くになくていつも困っていました。子供たちも手紙を書く機会が増えるとなおいいですね。手紙って、うれしいですよ。

(※校長室だより10月28日号「郵便ポストのある学校」参照)

いよいよ11月4日(金)に設置されます。教職員も子供たちも皆楽しみにしており、きっと手紙を書きたくなると思います。設置実現までの多くの方々のご尽力に、改めて感謝申し上げます。

- ・校長室便りとても興味深く読ませて頂いております。内容も興味深いものもあり、毎週しっかりと読ませて頂いております。
- ・先日の音楽発表会の設えお疲れさまでした。コロナ禍の中で大変な事だったかと思えます。そのような中で娘の成長した姿を見る機会をもらえた事感謝申し上げます。また、校長先生をはじめとした先生方の演奏、とても素敵でした。なかなかそのような場にあった事がなかったのでとても新鮮で良かったです。

校長挨拶の時間を使い、子供たちの演奏が始まる前に、体育館の雰囲気「音楽の秋」にするための前座として、職員有志での演奏を披露いたしました。温かいお言葉をいただき、ありがとうございました。

11 / 4

- ・施設開放で学校に来た時、校門前にポストができていて、「本当にできたんだ！」と感動しました。これからは出す郵便物があればついでに持ってくればいいので、とても助かります。

多くの皆様に喜んでいただき、学校としても大変嬉しく思っております。

- ・おやじの会主催行事の収穫祭のチラシに「社会学級」も参加すると書いてありました。社会学級は今も活動しているんですか？

現在、仙台市教育局生涯学習課が管轄し予算を配当している「社会学級」は、郡山小学校にはありません。市からの委託料の必要性や、決算報告・活動報告等、様々な負担を検討し、委員の皆様と話し合い、今年度からは申請を取りやめました。但し、学校を支えていただいているサポーターの皆様であり、今年度も様々な形でご協力いただいております。

「社会学級」という名称については、地域や保護者の皆様に浸透しているということで使用を継続していますが、今後誤解のないように、学校支援サポーターとしての新たな団体名も検討しているところです。

- ・おやじの会主催の日曜日の行事「収穫祭」に子供が参加するのですが、詳しい日程や案内などのお知らせは学校から出ないのでしょうか？

おやじの会には、日頃から子供たちのために親身になって精力的に活動していただいております。全市の見ても類を見ない強力な学校サポーター組織であり、おやじの皆様の子供たちや学校への愛情と情熱、そして責任ある行事運営に裏打ちされた活動に感謝すると共に、誇りに思っております。

学校として、情報交換を密にしながら協力し合っておりますが、おやじの会主催行事は学校の行事や授業ではありませんので、学校からお知らせを出すことはいたしません。参加についても任意です。（申し込みが必要なものもあります。）おやじの会からのお知らせには、必ず問い合わせ先が明記されていますので、不明な点があれば直接ご連絡いただきますようお願いいたします。

- ・校長室だよりを毎回楽しみにしています。

ご一読いただいていることに感謝申し上げます。

11 / 11

- ・校長先生が毎日毎日通学路を見回りしてくださっていること、本当に感謝していますし、尊敬しております。ありがとうございます。

毎朝の通学路巡視は、通学する子供たちを迎えながら挨拶を交わし地域の方々とも挨拶を交わしながら通学路の安全点検や交通安全の啓発等を行うために、私（校長）にとって欠かせない子供たちのための大切な職務の一つです。温かいお言葉をいただき、励みになります。ことらこそ、ありがとうございます。

- ・飯田公園に遊びに来ている高学年児童の自転車が道路に止められていて、通行の妨げになっています。その場でも注意していますが、学校でも指導していただけたらありがたいです。

駐輪スペースのない公園には自転車では行かないように指導いたします。友達の家で自転車で遊びに行ったついでなどの際には、友達の家など、迷惑にならない場所に自転車を置いてから公園に向かうことも必要だと話しました。大人が自動車で出かけるときに、必ず駐車場に入れるのと同じように、子供たちにも、自転車で出かけるときには駐輪に際して責任が伴うことを自覚させて参ります。

- ・子供同士でも、大人にも、嘘をつく子がいます。多少のものならば嘘も方便だと思いますが、人を傷つけるために嘘をついています。何度言っても直らない、同級生にそんな子がいて、子供が苦慮しています。相手が傷つくと分かっている、しつこく言ってきます。何よりその子にとってマイナスでしかないことです。どうしたらいいのかとても悩んでいます。

ずいぶんとつらい思いをなさったことでしょうか。その子にとっては相手の気をひくための自己主張なのでしょうが、方法を間違っています。人を傷つけることを伴うようであれば、なおさら指導が必要でしょう。担任と連携して学校で可能な対応を探して参ります。

- ・自宅近くに、プリペイドカードの落し物がありました。学校に届けます。

子供から受け取って確認いたしました。高価なカードでした。犯罪が関係している可能性もあり、学校から警察署に届けました。

警察署では、届けた職員が様々な質問を受けた上で、拾得物は最初に拾った人が届けるようにという指導を受けました。

校内での拾得物については、子供たちは職員室に届けることになっていますが、校地外の場合は、原則として学校が介入することはできません。今後、子供が校地外で拾った物については各ご家庭で対応していただきますようお願いいたします。

なお、不審者についても、学校に連絡する前にまず、被害に遭った方や目撃した方が直接110番通報していただくことが大切です。学校には警察権はありません。間に入って対応することもできません。「学校に連絡すればいい」と思うのは間違いです。児童の安全に関わることとして学校への連絡も必要ですが、事件等の速やかな解決のために「まず警察に」という意識を持っていただきますようお願いいたします。

11 / 18

- ・先日提出した「いじめ実態把握調査」の際、無記名での提出にも関わらず出席番号を書かせての提出の意味が分かりません。これでは個人名を書かせていることと変わりません。なぜ出席番号を書かせたのかを知りたいです。無記名だから自分の気持ちを書ける子供もいるのではないのでしょうか。

ご意見、確かに承りました。匿名性の担保に関して、不快な印象を与えてしまい、申し訳ございません。その上で、ご質問への回答と校長としての考えをお伝えいたします。

「調査用紙1」（いじめ緊急対応用）については、匿名ではなく記名での提出となっておりますが、担任は開封できないため、提出漏れを防ぐために封筒にも出席番号を明記しております。「調査用紙1」に記名させるのは、その後の迅速な対応を行うためです。「調査用紙2」（学校への評価や意見）に関しては、無記名での提出となっており、封筒への番号の記入もいたしません。「調査用紙2」の封筒にも番号の記載があったとすれば、提出漏れを防ぐ目的のみだったと思われそうですが、いずれも、封をしたまま教頭に提出し、開封は担任が関わることなく教頭と教務主任が担当しており、匿名性の担保は確保いたしております。しかし、疑念を持たせたことについては、お詫び申し上げます。今回のご意見を受けて、次年度からは「調査用紙2」については、封筒に入れずに提出するのが望ましいと考えております。

いじめ防止対策や事後対応は、学校にとって緊急性を要する課題です。郡山小学校では、仙台市が年に1回実施しているアンケート以外にも4回、いじめ調査も含めた学校生活アンケートを実施しています。その都度、仙台市の方針として、被害者を優先した上で、加害・被害、両方の児童の保護者への連絡が義務付けられており、その後、解決に至るまで、学級担任は毎回、その対応にあたっています。

「匿名だからこそ自分の気持ちを書ける子供もいる」というご意見も重く受け止めました。校長への投書や情報提供については常に匿名でも受け付けておりますので、今後も随時、子供たちからも含めて、匿名での情報でもお寄せいただきたいと思います。

- ・担任の先生の他児童への注意の仕方が怖いと言って、うちの子供が学校に行きたくないと言うようになりました。周囲の無関係な子供にまで恐怖心を与えるような叱り方にならないように気を付けていただきたいと思います。

子供につらい思いをさせて申し訳ありませんでした。以前、5月20日付けでも同様の訴えをいただいており、他学級ではありますが、同様の問題が再発したことを重く受け止め、深く反省しております。

以前の問題に際してと同様に、今後、どのような時に怒らなければならないのかについて、担任から丁寧に説明させ、子供たちにも理解と協力を求めて参ります。また、問題行動への対応に際しては、一斉指導の中での厳しい注意を控え、個別指導も取り入れながら対応するなど、配慮や工夫に努めて参ります。立派にできている、注意される対象ではない児童を取り上げて、積極的に褒めることも心掛けて参ります。

なお、担任がたった一人で大勢の児童を掌握し正しい方向に導かなければならない現在の学校制度の中では、一部の目に余る問題行動に際して、全体の前で毅然と指導することで集団としての意識を高め、改善につなげなければならない場面があることもご理解いただき、個々の児童の自覚を促すための各ご家庭でのご自身のお子さんに対する働きかけにもご協力を賜りますようお願いいたします。

- ・通学路の路面の歩行者用「とまれ」の表示が新しくなっていました。（パンダちゃんの）学校で対応いただいたのでしょうか？ ありがとうございます。

以前にお知らせしていたとおり、交通安全協会郡山支部からの学校配当予算で購入することができ、一部、私（校長）が設置いたしました。50枚ほど購入いたしましたので、今後、6年生の奉仕活動として、学区内の老朽化した表示を更新したり、新たな危険個所に設置したりする予定です。

- ・日曜日の収穫祭は、とても楽しく、子供たちも大喜びでした。ありがとうございました。

おやじの会主催行事でした。今回に限らず、おやじの会主催行事で多くの小学生や中学生、地域の方々が学校に集う姿を見るたびに、「地域と共にある学校」という理念が形として現れていると感じ、感慨深いものがあります。おやじの会の皆様、社会学級の皆様、PTA の皆様、地域の皆様、中学生ボランティアの皆様等々、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。これからも地域の皆様が郡山小学校に集う機会が増えるよう、学校も協力して参ります。

11 / 25

- ・昨今の新型コロナウイルスの対応について、家族内での体調不良があった場合欠席とするという形になっているかと思えます。その対応については全く異論ございません。しかしながら、欠席している間の学習の機会が減ってしまうことを危惧しております。先日、クロームブックを生徒一人一人に割当となり、パスワードなども設定していたかと思えます。そちらをなぜ有効に活用しないのでしょうか？ with コロナの中での学校生活を円滑にしていくのであれば積極的に活用するべきではないのでしょうか？教育委員会からの通達なのか仙台市からの通達なのかはわかりませんが、現在はどのようになっているのでしょうか？可能な範囲で構いませんので教えていただけますと幸いです。よろしくお願い致します。

ご連絡ありがとうございます。クロームブック活用につきましては、現在、授業時間を中心に、児童個々の学習での使用が始まっています。

基本的に、教育委員会から画一的に使用方法や使用場面について規定されてはいませんが、個々の児童が家庭に持ち帰っても使用できるように、パスワード設定と持ち帰り方法についての指導、家庭のネット環境の確認、実際に持ち帰らせてのネット接続体験までは早急に行うよう指示がありましたので、本校でもこれまで全学年で実施いたしました。その後、高学年中心ではありますが、持ち帰って調べ学習や資料作成に使用したり、Google Meet を活用して各家庭に居ながらのホームルーム活動を行ったり等、活用を進めて参りました。おっしゃるとおり、欠席時の学習補助としても、今後、欠席の状態、欠席日数、学年の発達段階や学習内容等を考えながら検討し、有効活用を努めることは必要だと感じております。健康な状態で自宅待機を余儀なくされた場合には、これまでは学習補填のために、子供たちがより作業として取り組みやすく事後の記録や評価にも責任を持って対応できるように、プリントや冊子の準備活用を中心にして参りました。今後も、アナログ的な手法も残しながら、場面に応じてではありますが、クロームブックを活用した取組として、以下のような内容を考えております。

○Google Meetを活用した取組

Google Meet の使用方法の練習に取り組んだ上で、必要な際に教室と家庭を Google Meet で繋いで、双方向のやりとりが可能な形での授業を実施する。(欠席者少数の場合・学級閉鎖等の場合 共に)

○仙台市教育委員会が提供し学校でも使用している「まなびポケット」という学習ソフトや関連リンクなどを集約したページを使用して、課題を提示したり学習内容を確認・習熟したりする。

※ NPO 法人 eboard (イーボード) が提供するリンクから、各教科や単元・内容について細かく指示して、学習に取り組ませる。

※ NHK for school を活用してプログラム (教育番組) の中から必要なものを選択して視聴させる。

※ 株式会社 Preferred Networks が提供する「プレイグラムタイピング」というプログラムを使用したタイピング基礎練習 (低学年向き) など

子供たちのために思い、貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げます。学校が遅れていた面については反省しながら、今後も更なる有効活用に向けて検討・努力して参ります。

- ・授業のオンライン配信及びアーカイブでの配信等について

欠席した際、本人が体調不良でない場合はオンライン配信での受講も可能と考えますが、本人が体調不良の場合当日に配信を見ることは難しいと思えますので後日見れるようにアーカイブでの配信があると思っています。もちろん、これらをやるうえでは様々なことをクリアしなければならないかと思えます。各家庭ごとに自宅で PC を所持している、または、スマホなどでインターネットの閲覧が可能なことが条件となります。また、インターネットの通信回線も通信制限などのことも配慮する必要が出てくるかと思えます。

スマホ・ポケット Wi-Fi などの場合通信の上限を付けての契約になっていることもありますので、こちらについては以前通信環境が整っていない家庭には市か学校から一時的にレンタルなどの話もあったと記憶しております。その場合の費用負担なども検討が必要になるかと思えます。閲覧できる機器がない場合は学校所有のクロムブックを貸与するなど必要になるかと思えます。その場合、いつ・どのタイミングで渡すべきか、年度当初に渡し年度末に回収するかなどルールの厳格化が必要になるかと思えます。当然ながら、各家庭ごとに子供に対し授業を受ける環境づくりをする、本人にしっかり受けさせるなど家庭内のルールも必要になると思えます。現在は with コロナで生活の中に取り入れながら進めていく方向になりつつあると思えます。現在のコロナだけではなくインフルエンザ時の対応にも応用ができるものと考えております。その症状以外にも出席ができない事もあるかと思えますが代表的な事柄を記載しました。どちらも本人が罹患した場合約 1 週間程度登校不可となりますので、その間の授業をアーカイブで見れるようになれば学習の機会を継続しつつ生活の中に取り入れていくことが出来るのではないかと思います。コロナに限定してしまえば、家族の人数が多ければ多いほど出席停止になる期間が延びることも想定されますし、コロナウイルスが蔓延し、授業のオンライン化も可能という話がいつの間にか消えてしまっただけではもったいないと思えます。現時点でその体制を各家庭でどの程度整えられるのかだけでも調査してみたいかでしょうか？その結果次第では、テスト的に一学年だけでも実施してみても効果の検証をしてみてもいいのではないかと思います。

詳細なご提案も含めたご意見をありがとうございました。

ご指摘のとおり授業のオンライン化やアーカイブ化に関しては、技術的には可能になっておりますが、現在、各小学校独自での実施にはまだまだ難しい面があると考えます。「授業のオンライン化も可能という話がいつの間にか消えてしまっただけではもったいない」とのお考えはもっともであり、本校でも実施可能な対応について検討を続けると共に、児童や教員の ICT スキルアップに取り組んでいるところです。

私たちは現在、学習指導・生活指導・生徒指導・保健指導・食育指導・等々・・・の日々の取組の中で、ICT に限らず様々な方面から様々な要請を受けながら、日々子供たちと共に全力で精一杯の教育活動を行っております。授業のアーカイブ化というご提案は、今後の必要性も含めて真摯に考えなければいけないと思っておりますが、義務教育で授業内容は共通であり、家庭への体制に関する調査等も含め、教育委員会主導で行うのが望ましいのではないかと考えております。授業をまるごと録画して、編集を加えて配信するとしても、勤務時間や他業務との兼ね合いや、更に、書かれていらっしゃるのとおり個人情報等の面など様々な点についても検討しなければなりません。前述のように、児童の学習のみならず日常全ての指導に当たっている現状では、担任業務以外の負担が過多となり得ることも懸念されます。本校においては、職員も主体的に問題意識を持っており、現状では、「板書を中心に写真やパワーポイント等を利用した整理・アーカイブ化」という職員からの案を検討したり、有料の教材（保護者負担）を使用しての対応についても検討したりなど、真剣に考え、問題と向き合っております。今後、いただいたご意見を職員と大切に共有し、教育委員会からの指示や対応にも期待しながら、なお検討を重ねて参ります。

12 / 2

- ・小学校の開門時間の要望があります。現在、開錠まで子供たちは外で待っている状況にあると思えます。開錠の時間を早くしていただくことはできないでしょうか。理由は、子供たちが外で待機する時間を減らすためです。この季節だと寒い環境で待たせてしまう状況になります。早く登校するのは、親の出勤時刻との関係でお見送り時間を遅らせて対応するのが難しいからです。現在でも会社の出社時間ギリギリの状態を維持して通学させている状況です。郡山から仙台駅方面へ向かう道路は朝から渋滞がひどく通学に合わせて出社すると 1 番道路が込んでいっている状態にぶつかります。外で待たせる時間を減らすため通学時間を遅らせようと思っても難しい状況です。可能か否かは学校の判断になるかと思えますが、要望としてご連絡をさせていただきました。

お気持ちはよく分かります。小学生の子育て中の保護者の皆様が、毎朝どれだけ大変な思いをなさりながら子供たちを送り出し、お仕事に向かわれているか、十分に想像できますし、私自身も子供が小学生の頃、同じような経験をいたしました。

しかしながら、ご要望いただいた昇降口開錠時刻については、職員の勤務時間や児童登校後の安全確保の観点から早めることは難しいのが現状です。児童に朝早く登校してもいいという正式な許可を与えて開錠を早め、一部の児童を校舎内に入れた場合、出勤しているわずかな職員が児童の安全確保に全責任を負わなけ

ればなりません。そこに居る職員は、児童を迎えるための安全点検や諸準備を行うための管理職や一部の当番職員であり、児童登校後の安全確保までは行えません。現在感染症対策のため8：10に職員を昇降口に配置して検温確認にあたっておりますが、職員の勤務は8：30からであり、現在の8：10の開錠についても様々な制約の中で話し合いを重ねて対応しております。下校後、帰宅時から翌朝の登校時刻までは、保護者の責任での安全確保が必要であり、改めて8：10開錠を目指して登校させていただきますよう、お願いいたします。(児童の登校時刻は8：30です。)

もちろん、何らかの事情で早朝に登校し、暴風雪にさらされているような児童を放置したり、トイレを我慢させたりするような非人道的対応をとることは決してありませんが、職員が一人もいない、或いはわずかな職員しかいない正規の勤務時間外においては、私たちは責任を持って対応することができないこともご理解ください。

原則的には以上のような対応となりますが、なお、個別の相談には随時応じながら子供たちのための対応を心がけて参ります。

- ・寒い時期となり、子供に学校にブランケットやネックウォーマーを持たせ、授業中も付けさせたいのですが、いかがでしょうか。

教室の窓を開けて換気することがあるため、授業中寒いときには、衣服の調節で対応するように指導しており、授業中のジャンパー等、上着の着用は認めております。ただし、手袋や耳かけ、ネックウォーマーなどについては、登下校時や休み時間の外遊びでの着用は自由ですが、ブランケットも含めて授業中には着用させておりません。今後も、換気によって極端に寒くなったり児童が苦痛を感じたりするようなことのないよう配慮して参ります。

12 / 9

- ・音楽発表会の際に子供が見えず、とてもがっかりしました。前から2番目で見ていたのですが、マイクや他のお友達と重なり演奏している姿が見えず、映像に残すこともできませんでした。後ろの保護者の方は、もっと見えなかったのではないかと思います。その後、写真販売(業者による撮影・販売)もありましたが、こちらにもあまり写っておらず、重ねてがっかりしました。今年の運動会は、1、2年生が合同でダンスの発表がありました。運動会でも、そう言った面でもご配慮頂けますとありがたいです。

記念に映像を残したいというお気持ちに答えられず、申し訳ございません。保護者席から児童の姿が見えにくいというご指摘を重く受け止めております。今年度は列の前後でパイプ椅子の配置をずらす、保護者席の間隔を広く取る等の工夫はしたつもりでしたが、来年度に向けての反省点として全職員で共有した上で、更によりよい並び方を改めて検討いたします。しかし、体育館という限られた場所の問題や席からの角度等でどうしても見えにくいことは考えられます。その際は、隣の席と間隔がある場合は少しずれていただいたり、保護者席の後方に立って撮影していただいたり等も可能になるよう配慮いたします。運動会でもダンスの体形移動や動き方など、見え方に配慮するよう工夫いたしますので、保護者の皆様も指定の範囲でできるだけ自由に動いていただきながらご覧いただきますようお願いいたします。

- ・町内会の回覧で、校長室便りを楽しみにしています。長文のため、回覧では読み切れずに毎回コピーして読んでいます。

回覧に際しては、お手数をおかけいたし申し訳ありません。回覧していただいていることに、改めて感謝申し上げます。

12 / 16

- ・地域住民です。毎月の「ふるさと郡山」と「校長室だより」を楽しみにしています。11月25日号の校長室だよりの裏面を拝見して思うところがあり、お手紙させていただきました。まず初めに、郡山小学校では仙台市の行うアンケートの他に年間4回の学校生活アンケートを実施して、丁寧に児童や保護者の聞き取りをされていることに驚きました。アンケートを取った後に保護者との連絡や解決に至るまで、きめ細やかに対応されていることに先生方のご苦勞を感じました。学校で集めたアンケートがどのような内容なのかは分

かりませんが、「無記名」と「記名」の2種類で集めたことは子供たちの真実の情報を受け止めようとする姿勢の表れなのだと思います。「記名」して伝えたいこと、「無記名でしか伝えられないこと」両方あると思います。どちらも子供たちにとって必要なやり方で、丁寧に取りこぼすことなく状況を把握するための手段なのだと思います。さらに、開封作業も特段の配慮の下で「匿名性」を守るように、なおかつ、全員からの情報を漏らさずに集めるための心配りと努力があることを知りました。若かりし頃、ラジオで「匿名希望」という言葉を覚えました。「匿名でのハガキは無責任な発言になりがちだ」と言っていたラジオパーソナリティの言葉が強く印象に残っています。最近ではネット社会の中で無責任な発言や誹謗中傷がはびこっています。無責任な発言は人を傷つけ、責任ある発言は対話につながりより良い未来を築く源になると思っています。学校の中で集めるアンケートは「子供たちにとって学校をより良い環境」にしていくための情報収集の手段だと思うのです。「より良い学校」にしていくための先生方の努力やご苦勞の中で「学校と家庭、学校と子供たち」は敵対する関係ではなく協働していくことが大切なのではないでしょうか。学校と子供たちと保護者の方々の信頼関係のもとに率直な意見交換の場が継続していくことを願っています。それがより良い「ふるさと郡山」という地域の未来につながることで信じています。

校長室便だより（学校便り）りは、保護者の皆様以外にも、各町内会のご協力をいただき、約1,500世帯の皆様へ回覧していただいております。地域の多くの皆様へ読んでいただいていることも大きな喜びですが、このように地域の方々からのお声もいただくことができることは、さらに大きな喜びです。

- ・登下校時に、スマホをいじりながら歩く児童を何度も見かけました。その子供たちにとって大変危険なことで、心配です。学校でも改めて指導していただくと共に、是非家庭にも周知して、改善に努めてほしいと思います。私も自分の子供に、改めて話をします。

現在、学校でのスマホ使用は禁止していますが、ご家庭の事情で登校時にスマホを校内に持ち込むことについては、学校に許可申請を出すことで認めており、現在持ち込んでいる児童は20名ほどいます。その児童に個別に指導すると共に、各学級で全体に対しても厳しく指導いたしました。

また、おっしゃるとおり、各ご家庭での指導こそ重要です。今後、より多くの児童がスマホを持つようになり、学校にスマホを持ち込むことについては、学校が許可することではなく、各ご家庭の責任での対応に移行していくことが予想されます。交通安全や火災予防、不審者対応等の指導を学校でも行うように、学校の責任でできることはいたしますが、基本的には各ご家庭の責任でご自身のお子さんに対する指導を徹底していただきたいと思っております。

- ・地域住民です。小学生の道路への飛び出しがあり、危なく事故になるところでした。低学年のようでした。学校で注意してください。

校長の朝の巡視の際にも、低学年に限らず、道路に広がって歩いていたり急に走り出したりなど、危険な歩き方が見られ、随時注意しております。今回のご連絡を受け、改めて学級担任を通して、歩道のない道路での自動車を意識した歩き方や飛び出しの危険性について指導いたしました。

今後も危険な様子を見かけた際にはご連絡いただき、その都度学校でも指導したいと思います。その上で、できましたら、地域の大人からもその場で注意していただければ、子供たちの意識がより高まると思われれます。子供たちの命を守るために、今後もご協力いただきますよう、改めてお願いいたします。また、保護者の皆様にも、冬休み中も事故無く過ごせるよう、ご自身のお子さんに対する確認と指導をお願いいたします。

12 / 23

- ・校長室だよりを拝見し、その国のイメージを勝手に思い込んでいるのは、その通りだと思います。昔と違って今は、自分の住んでいる地域にも、たくさんの外国人が住んでいます。また、学校の授業でも、外国人の先生が教えてくれることもあると聞いています。子供たちには、彼らと触れ合うチャンスがたくさんあります。その中で、世界の人たちには、いろいろな考え方があると気づくことができれば、子供たちにとって財産になると思います。

- ・昨年末に、北目南の東北電力前に横断歩道が新設されました。複雑だった学校側の道路も整理され、子供たちの安全確保につながっています。ありがとうございました。

令和4年度当初、保護者からお寄せいただいたご意見がきっかけで、その後、多くの関係者の方々のご尽力により実現いたしました。特に、学校の南西方面から通っている子供たちにとって朗報であり、学校としても、たいへんありがたく思っております。標識も整備され、これまで以上に通行車両が子供たちの横断に配慮する様子が見られます。これまで通行車両の合間を縫うようにして飛び出したり斜め横断したりしていた子供たちにも、改めて安全な横断の仕方を指導するきっかけになりました。

- ・河北新報に、「これまで郵便ポストがなかった地域にポストが新設されて嬉しい」という内容の投書が掲載されていました。きっと、郡山小学校の校門前のポストのことだと思い、校長先生にお知らせしたいと思いました。

1月4日(水)の河北新報朝刊のくらしのページ「ティータイム」というコーナーで紹介されていました。(タイトルは「幸運のポスト」)私も拝見して、きっと我が校のポストのことだと思い、嬉しくなりました。

※個人情報保護等の関係で、内容を詳しく記述していないものもありますが、「緊急性の高いもの」や「個別対応が必要なもの」については、随時、迅速に、誠意を持って対応しております。